

令和 2年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	土屋
全体計画	平成31年度	～	令和 2年度	経費区分	実施計画事業費		内線	3312			
事務事業名	12333 福社会館整備事業										
所 属	100100 健康福祉部・福祉課										
施 策	01020500 障がい者福祉の充実										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	030105 民生費・社会福祉費・福社会館費									
	事業	020000 福社会館整備事業									
事業目的						事業概要・効果					
障がい者福祉の増進と自立の促進を図るために設置定した施設の維持管理と適切な管理運営を行うことにより、障がい者福祉の向上を図る。						福社会館の老朽化が進み、建築基準法に基づく定期報告において、屋根修繕及び外壁修繕が指摘されているため、改修工事を行う。 トイレからの臭いがひどいため設備改修を行うとともに、給水設備の老朽化が進んでおり、維持が困難になってきているため、直結方式の給水方式に改める。					

PLAN-DO
年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
平成29年度 実績	平成30年度 実績
平成31年度 実績	令和 2年度 予定
設計委託業務 1,760千円	施設改修工事 59,996千円

指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成31年度 決 算	令和 2年度 予 算
事業費		1,760	59,996
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	1,300	56,300
	その他	0	0
一般財源		460	3,696
人員数(人)	正規職員	0.1	0.2
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	726.5	1,453.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	726.5	1,453.0
市民一人当たりの経費		0.0	1.2
総額		2,486.5	61,449.0

(単位：千円)

平成31年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	1,760	設計委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 2年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	59,400	福社会館改修工事
18節 負担金補助及び交付金	596	水道分担金
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	施設の長寿命化を図るために必要である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	施設の長寿命が図れ、安心して施設利用ができるようになる。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	向上
評価コメント	一般競争入札を行い、費用の節減に努めている。借入条件が良い起債を活用することにより、後年度への負担を軽減している。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

整備設計を適正に進めることができた

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
適正な事業執行を図る中で経費の節減に努める		より活用しやすい整備を計画的に進める	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	